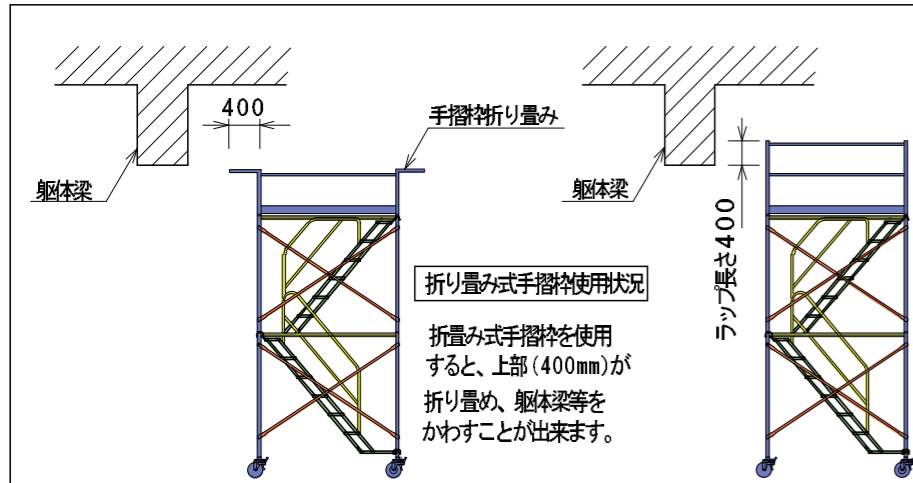


ローリングタワー（組立て図）



段数	作業床の高さ(㎜)	重量(kg)
5段	8,110~8,220	642
4.5段	7,500~7,610	633
4段	6,561~6,761	543
3.5段	5,951~6,061	487
3段	5,012~5,122	397
2.5段	4,402~4,512	388
2段	3,463~3,663	299
1.5段	2,853~2,963	290
1段	1,914~2,024	200

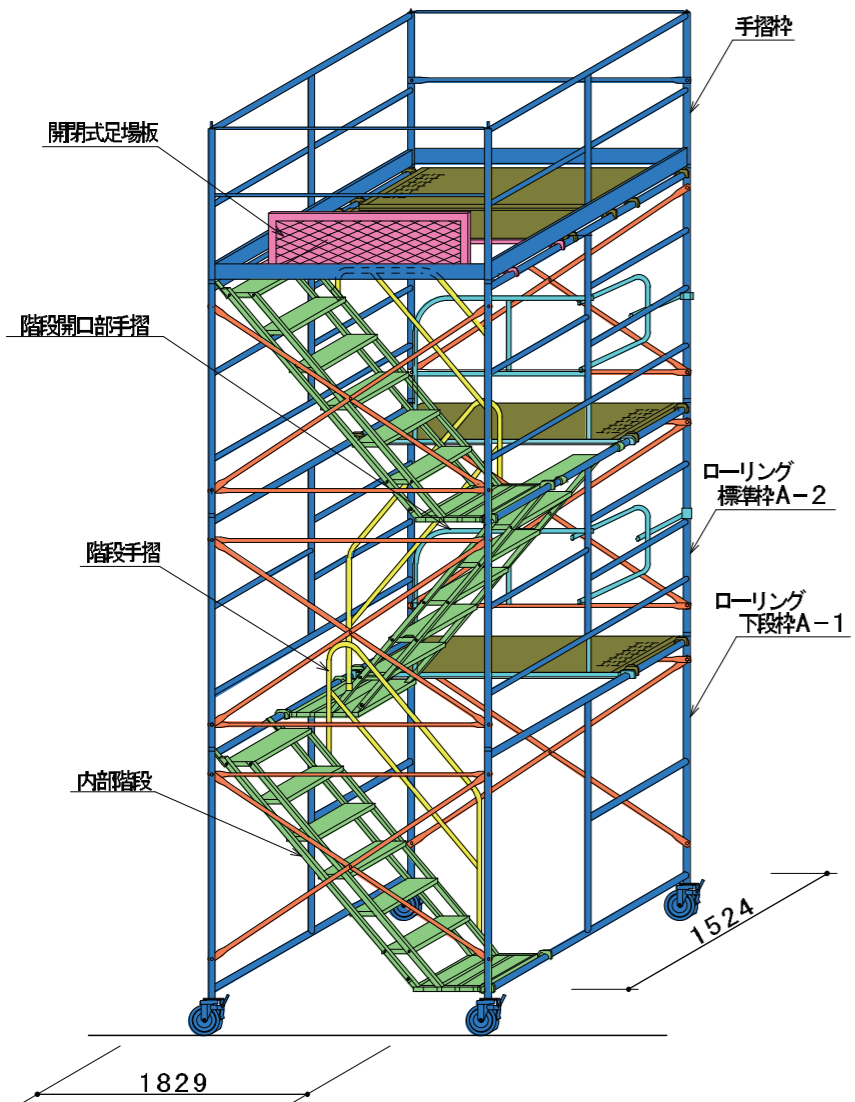
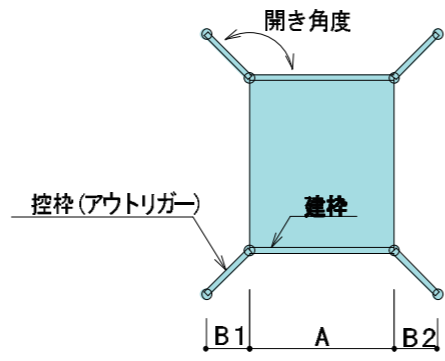
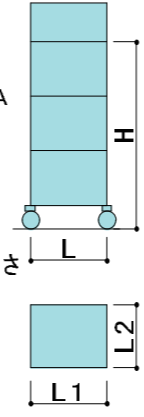
- 4段以上はアウトリガーが必要となります。
- 0.5段とは高さ914mmの調節棒(A-2S)を上段に使用します。

■ 移動式足場の安全基準に関する技術上の指針（抜粋）

①積載荷重
積載荷重(Wkg)は、作業床(A㎡)に応じて次の式によりえられた値とする。
A ≥ 2 のとき W = 250kg
A < 2 のとき W = 50 + 100A

②使用高さ及び脚輪間隔
1) 控棒がない場合
 $H \leq 7.7L - 5.0$
H: 脚輪の下端から作業床の高さ
L: 脚輪の主軸間隔(狭い方)
(A-2 棒の場合)
 $H \leq 7.7 \times 1.524 - 5.0 \approx 6.7m$

2) 控棒がある場合のLの値
 $L = A + 1/2(B1 + B2)$



- 作業床(最上段)の鋼製布板は、開閉足場板、400幅、480幅の3枚敷きとなります。
- 中下段は、階段棒2台と480幅1枚敷きとなります。

特長
1. 昇降が安全な内部階段式
2. 内部への出入りが容易に出来るように、1段目に特殊棒を採用
3. 作業床部開閉式足場板は、上部の状態が確認できるメッシュ式
4. 上部手摺棒は、梁下時の移動に便利な折畳式も採用(選択)

- 使用上の注意
- 作業床に人を載せたまま移動しないこと
 - 作業中は必ず脚輪のストッパーは掛けておくこと。
 - 作業床上では、脚立・梯子等を使用しないこと。

ローリングタワー（部材）

下段用棒 A-1	24.0kg	ローリング棒 A-2	21.5kg
ローリング調節棒 A-2S	14.8kg	開閉式足場板 460幅	19.0kg
ローリング階段 RT-1524	13.5kg	ローリング階段上部 RT-914	10.0kg
ローリング手摺棒	14.5kg	車輪 A-728J	7.0kg
ローリング 幅木	3.0kg	アウトリガー	7.0kg